

2022年度 ホームカミングデー・同窓会総会

2022年10月29日(土) 外大祭同時開催

関西外国語大学 中宮キャンパス

(京阪電車 枚方市駅下車 北口3番、4番乗り場より約8分)

■当日のスケジュール

※不測の事態により、スケジュールや内容に変更が生じる場合があります。
その際には、ホームページなどで告知いたしますのでご確認ください。

第1部 11:00～11:20 総会
11:20～11:25 母校の現状報告

第2部 11:30～12:30 講演会 バイマーヤンジン様
講演テーマ 幸せへの近道
ーチベット人の私が日本で暮らして思うことー

(第1部・2部の会場:中宮キャンパスマルチメディアホール)

第3部 12:40～15:00 懇親会 ●懇親会場では、軽食・お飲物をご用意しています。
(会場:中宮キャンパス厚生南館) ●懇親会参加費:お一人2,000円
(中学生以下は無料)

※ホームカミングデーにご参加の方は同封のハガキを返送してください。
同窓会のホームページからも申込可能です。

教職教育センターからのご案内

第22回「関西外大OB・OG教員のつどい」(教職教育センター主催)を上記の同窓会総会・講演会終了後、引き続き開催します。小学校、中学校、高校教員のご参加をお待ちしています。

バイマーヤンジン様プロフィール チベット出身、声楽家・社会教育家



厳しいチベットの大自然に育まれた力強い歌唱力とそのみずみずしい感性で厳しい競争に勝ち残り、中国国立四川音楽大学に入学する。卒業後同大学専任講師として教壇に立つ。1994年来日後、日本でただ1人のチベット人歌手として、チベットの音楽、文化を紹介するため全国的に講演会、コンサート活動を行う。ユーモアたっぷりの語り口で、日本とチベットの文化の違い、家族のあり方などを論じる講演も多くの人々の感動と共感を呼び、教育関係、企業、学校等からも高い評価を得てテレビ、ラジオで度々紹介される。故郷の子供たちに教育を始めたチベットの学校建設活動も大きな成果をあげ、今では9つの小学校とひとつの中学校が開校、日本とチベットの子供同士の交流も積極的に行っている。また現地の大学4校に奨学金を設立、経済的に苦しい大学生への支援も続けている。

関西外国語大学・短期大学部同窓会誌

Alumni

Vol. 12
Oct. 2022

Kansai Gaidai University Alumni Association

関西外国語大学・短期大学部同窓会 活動支援寄付金のお願い

関西外国語大学・短期大学部同窓会では、皆様からのご寄付を募っています。

同窓会の活動資金は大学卒業時に徴収している同窓会費(終身で1万円)が唯一の収入源となっており、その中から会報誌の制作・発送費、本部・支部総会に係る費用、在学生への支援などに使われています。しかしながら、収入額がほぼ固定(卒業生数が、ほぼ一定)されているのに対して、支出については会員数の増加および支部の増加等に伴う活動費が年々増大し、近い将来、資金不足が生じることが予想されます。

このような状況を踏まえ、この度同窓生の皆様からのご寄付を募ることとしました。皆様からのご寄付により、今後も同窓会を安定的に運営し、皆様のご期待にお応えしたいと考えております。

同窓生の皆様のご理解とご支援のほど、よろしくお願い致します。

募集内容	1口 3,000円 以上
寄付金の使途	会報誌の制作・発送費、本部・支部総会に係る費用、ホームページの維持・管理費、名簿管理費、在学生への奨学金・課外活動等支援奨励金
寄付方法	銀行振込によるご寄付をお願いします。下記の口座へお振込みをお願いします。 ※手数料は自己負担をお願いします。

三井住友銀行 枚方支店 (普) 4967505
関西外大同窓会寄付金口座 会長藤木英幸(カンサイガイダイドウソウカイキフキングチカイチョウフジキヒデユキ)

※ご依頼人氏名(フルネーム)の後に会員NO.を入力してください(例:y123456)。会員NO.は送付した封筒シール右下のx、y、zから始まる番号です。封筒の紛失等会員番号が分からない場合は、入力していただく必要はございません。

その他 税法上の寄付金控除の対象とはなりませんので、ご了承下さい。

お問い合わせ先	関西外国語大学・短期大学部同窓会 〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1 ICC4階 6410室 TEL:072-805-0140(直通) FAX:072-805-2812 info@kansai-gaidai-dousou.jp	【開室時間】 10:00～16:00(月曜日～金曜日) ※土曜、日曜、祝日、大学休業日は閉室。
---------	--	--

メールアドレス登録・
変更登録のお願い

登録されたメールアドレス宛てに同窓会などの最新情報を配信しています。
会員登録済みでメールアドレスが未登録またはアドレスを変更された方は登録内容変更フォームよりメールアドレスの登録、変更登録をお願いします。
また住所、氏名などの変更も同窓会のホームページから変更登録をお願いします。

Alumni

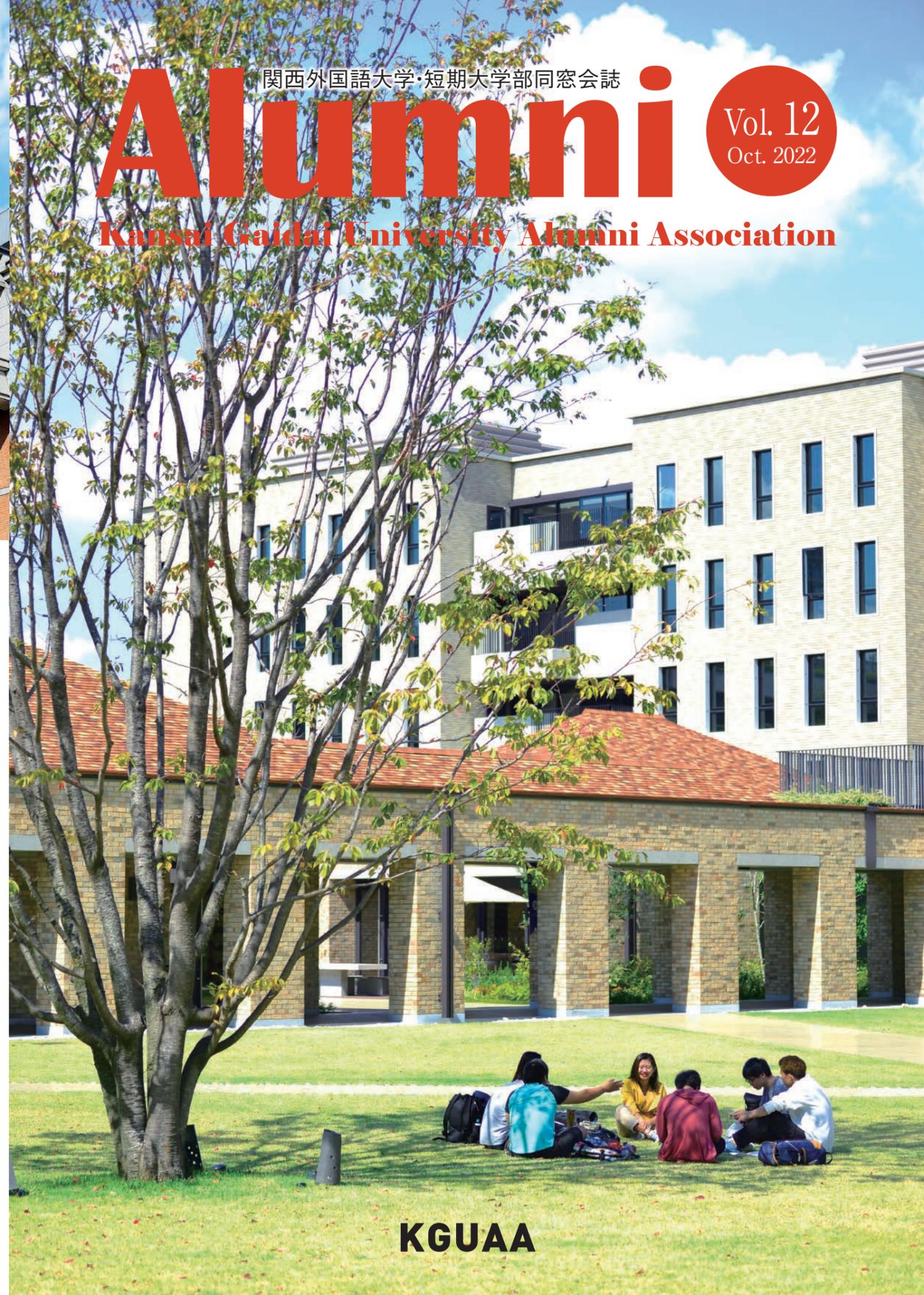
関西外国語大学・短期大学部同窓会誌

関西外国語大学・短期大学部同窓会誌 第12号 2022年10月1日発行

関西外国語大学・短期大学部同窓会 〒573-1001 大阪府枚方市中宮東之町16-1
Tel. 072-805-0140 Fax. 072-805-2812

<http://www.kansai-gaidai-dousou.jp/>

KGUAA



名誉会長挨拶



関西外国語大学
理事長・総長
関西外国語大学・短期大学部同窓会
名誉会長

谷本 榮子

同窓会の皆さまには、平素より格段のご高配を賜り、心から深く感謝申し上げます。

関西外国語大学、関西外国語大学短期大学部は、新たな飛躍の時を迎えました。高等教育を取り巻く厳しい状況を逆にチャンスととらえ、時代の先を見据えた大学改革に取り組んでおります。

2023年4月に新たな学部として「国際共生学部」を、外国語学部に新たな学科として「英語・デジタルコミュニケーション学科」を設置いたします。また、短期大学部では「自他ともに認める日本一の短大」を目指し、学修者本位の教育実現を通じた外短ブランド力の向上に向けて邁進しております。

先行きが見通せない時代だからこそ、実践的な英語運用能力や確かな知識、世界に通じる見識が求められています。関西外大は、卒業生の皆さんが築いてこられた実績を礎として、時代の先駆者となり、グローバル人材を送り出す使命を帯びています。

キャンパスでは、2022年4月から全面的に対面授業となり、クラブ・サークル活動も再開されました。新型コロナウイルスへの警戒は続きますが、笑顔と活気が戻って参りました。いよいよ大学改革がスタートいたします。

更なる飛躍に向けて、同窓生の皆さんのご支援が不可欠です。一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

Eiko Tanimoto

President of the Board of Trustees, Chancellor, Kansai Gaidai University
Honorary Chair, Kansai Gaidai University Alumni Association

I would like to express my deepest gratitude to those of you in the Alumni Association for your continued support.

Kansai Gaidai University and Kansai Gaidai College have entered a new stage for advancement and growth. Looking to the future, we are taking the current predicaments surrounding higher education as an opportunity for university reform.

Next April we are welcoming two new additions to our list of faculties and departments; the College of Global Engagement, and the School of English and Digital Communication in our College of Foreign Studies. Additionally, the Junior College (tanda) has set its standards as having the highest reputation among all colleges in Japan and is striving to enhance the strength and recognition of the “Gai-tan” brand through learner-oriented education.

There is demand for practical English language skills, substantial knowledge, and world-class insight especially in these uncertain times. One of the missions of Kansai Gaidai is to expand our innovations and foster global human resources, with the achievements of our alumni at the foundation.

Classes have returned on campus to face-to-face format as of April 2022, and all club and circle activities have resumed as well. While the coronavirus situation is still a concern and precautions continue to be taken, it is a joy to see that smiles and enthusiasm have returned. It is now time to commence university reform.

The support of all alumni is indispensable for any progress we aim to make. We appreciate and look forward to your further guidance and encouragement.

会長挨拶



関西外国語大学・短期大学部同窓会 会長

藤木 英幸

大学および短期大学部(関西外大ハワイ校を含む)同窓生の横断的な絆の深化を図ることを目指しており、その一環として、短期大学部を卒業された皆様にも積極的に同窓会活動に参加していただくために、同窓会の名称に「短期大学部」を加えました。

今後、「オール関西外大」として同窓生が一体となり、同窓会と母校が更に発展していくことを願っています。また、同窓会活動に携わる本部・支部のメンバーも微力ながらサポートさせていただきますので、皆様方のご支援をよろしくお願いいたします。

なお、この会報誌の裏表紙に、同窓会活動に対する支援を目的とした寄付のお願いを掲載しております。この趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願いいたします。

最後に皆様のご健勝をお祈りするとともに、本部・支部行事でお会いできることを心待ちにしております。

Hideyuki Fujiki Chair

Kansai Gaidai University Alumni Association (KGUAA)

Fellow alumni, as you know, social activity has been drastically affected by the COVID situation for over two years now. Students were deprived of opportunities to be on campus, and part-time job openings decreased, which seriously affected student finances. The Alumni Association, in cooperation with the university, has provided financial assistance to those students.

Alumni Association related events were forced into suspension, namely, our annual Homecoming Day and branch events. However, while COVID-related virus continues to mutate into different forms, classes resumed on campus this April for the first time in two years, and the Alumni Association is also making a fresh start by resuming alumni activities. Firstly, we have been proactive in organizing our Homecoming Day as well as resuming branch events, including the inaugural meetings of both the Hokuriku and Kyushu branches.

Our alma mater has advanced remarkably, and the number of graduates is nearing 200,000, with close to half of those being from the Junior College. In light of this, our aim is to deepen cross-sectional ties among University and Junior College alumni (including those from Kansai Gaidai Hawaii College) under an "All Kansai Gaidai" philosophy. We start this by adding the term "Junior College" to our official name in Japanese. We hope that alumni will unite under this philosophy. While members, staff, and officers of the Alumni Association will provide as much support for this as possible, your support will be greatly appreciated as well.

On the back cover of this newsletter, we have included a request for donations to support the activities of the Alumni Association. We hope that you will understand the purpose of this request and show us your cooperation.

On behalf of the KGUAA, I wish you the best and look forward to seeing you at the annual events.

第6期事業計画

2021年10月～2023年9月

～ Starting the Next Chapter ～

コロナ禍からの再出発を目指す第6期事業計画においては、『オール関西外大』の理念のもと、大学および短期大学部(関西外大ハワイ校を含む)同窓生の横断的な絆の深化を図るとともに、同窓会、母校、現役生とが一体感をもった強固で柔軟かつ持続的な組織の構築を目指す。

第6期事業計画では、同窓会設立の原点に回帰した事業方針の一貫性と継続性を堅持しつつ、コロナ禍による第5期事業計画での未達成の施策の継続とともに、ポストコロナ/ウイズコロナ社会における同窓会の内外環境の様々な変化に柔軟に対応することのできる新規事業を事業計画に落とし込み、実効性のある施策を実施することとする。

1. 同窓会組織の充実

- (1) 短期大学部卒業生の同窓会活動への参加推進
- (2) 同窓会への登録推進
- (3) 支部設立の支援
- (4) ホームカミングデーへの参加推進
- (5) 同窓生の連帯強化策の深耕
- (6) 支部活動充実のための支援

3. 現役生への支援活動の多様化

- (1) クラブ活動への支援
- (2) 就職支援活動の多様化

2. 情報発信の強化

- (1) 情報発信機能(会報誌Alumni・ホームページ・Facebook)の有効活用
- (2) ホームページアクセス数・Facebookのフォロワー数の増加

4. 母校との連携強化

母校の関係部署との連携を強化し母校の発展・充実寄与に最大限の効果をもたらす

役員紹介

名誉会長	Honorary Chair	谷本 榮子	Eiko Tanimoto	関西外国語大学 理事長・総長
名誉副会長	Honorary Vice Chair	大庭 幸男	Yukio Oba	関西外国語大学 学長
名誉副会長	Honorary Vice Chair	谷本 和子	Kazuko Tanimoto	関西外国語大学短期大学部 学長

第6期同窓会本部役員(2021年10月1日～2023年9月30日)

会長	Chair	藤木 英幸	Hideyuki Fujiki	外国語学部(Foreign Studies)	1983年卒
副会長	Vice Chair	高橋 一彦	Kazuhiko Takahashi	外国語学部(Foreign Studies)	1980年卒
副会長	Vice Chair	有本 昌剛	Masatake Arimoto	外国語学部(Foreign Studies)	1981年卒
副会長	Vice Chair	阿江 九美子	Kumiko Ae	大学院博士前期課程(Graduate School)	1995年修
副会長	Vice Chair	井端 義人	Yoshihito Ibata	外国語学部(Foreign Studies)	1986年卒
副会長	Vice Chair	松田 裕子	Yuko Matsuda	外国語学部(Foreign Studies)	1986年卒
副会長	Vice Chair	前田 英樹	Hideki Maeda	外国語学部(Foreign Studies)	1992年卒
幹事長	Secretary General	遠藤 幸治	Yukiharu Endo	外国語学部(Foreign Studies)	1979年卒
会計監査	Auditor	稲増 哲	Satoshi Inamasu	外国語学部(Foreign Studies)	1986年卒
会計監査	Auditor	牧志 里美	Satomi Makishi	外国語学部(Foreign Studies)	1986年卒

2021年度 収支決算書

自 2020年10月1日 至 2021年9月30日

(単位:円)

科目	予算額	決算額	予算比	備考
1 繰越金	151,177,648	151,177,648	0	
2 同窓会費	31,000,000	32,450,000	1,450,000	2021年3月・8月卒業生入会費
3 寄付金	0	0	0	
4 同窓会懇親会費	1,200,000	0	△ 1,200,000	ホームカミングデー支部総会開催なし
5 受取利息	70,000	284,914	214,914	大口定期満期解約
6 雑収入	0	139,508	139,508	上海支部補助金返金(活動休止のため)
7 預り金収入	20,000	2,470	△ 17,530	源泉徴収
8 収入合計	32,290,000	32,876,892	586,892	
9 収入の部合計	183,467,648	184,054,540	586,892	
10 行事費	100,000	0	△ 100,000	ホームカミングデー開催なし
11 奨学金・協賛費	11,800,000 (予備費より充当) 1,000,000	14,010,000	1,210,000	同窓会奨学金(新型コロナ支援のために増額)生活困窮学生支援、課外活動等支援奨励金
12 支部補助金	5,400,000	115,476	△ 5,284,524	支部年間補助金
13 外注費	9,000,000	7,710,080	△ 1,289,920	ホームページリニューアルホームページ管理費、会員データ管理費等
14 出版・印刷費	2,000,000	1,985,309	△ 14,691	会報誌制作費等
15 会議費	20,000	1,889	△ 18,111	
16 旅費・交通費	500,000	191,380	△ 308,620	事務局職員交通費
17 通信運搬費	4,800,000	4,580,952	△ 219,048	会報誌郵送料、電話代等
18 人件費	900,000	1,476,594	576,594	事務局職員給与、労働保険料
19 雑費	150,000	541,037	391,037	事務局職員人材紹介手数料、バス・タクシー、基金、事務用品費、消耗品費等
20 予備費	1,000,000 (流用) 1,000,000	0	0	(流用)同窓会奨学金、生活困窮学生支援
21 預り金支出	20,000	1,110	△ 18,890	源泉徴収
22 支出合計	35,690,000	30,613,827	△ 5,076,173	
23 次期繰越金	147,777,648	153,440,713	5,663,065	
24 支出の部合計	183,467,648	184,054,540	586,892	

次期繰越金内訳

普通預金(三井住友銀行枚方支店)	153,369,582
現金	71,131
合計	153,440,713

2021年度同窓会奨学金採用者数

所属	採用者数	合計
大学	26人	36人
短大	10人	

2021年度課外活動等支援奨励金授与者数

区分	大会の規模	人数	成績
個人	全国規模	9人	1位2人、2位1人、4位1人 5位1人、6位3人、8位1人
		1団体	4位1団体

区分	大会の規模	人数	成績
個人	全国規模	9人	1位2人、2位1人、4位1人 5位1人、6位3人、8位1人
		1団体	4位1団体

★ 輝く同窓生 ★

昨年9月から本年8月までに掲載された次の皆様方をはじめ、さまざまな分野でご活躍の本会会員を紹介する同窓会ホームページのコンテンツ「輝く同窓生」を是非ご覧ください。



H.U.グループホールディングス株式会社
取締役 代表執行役社長 兼 グループCEO
竹内 成和氏
1976年 外国語学部 英米語学科 卒業



ORIX Corporation USA(米国オリックス社)
財務部
細川 幸治氏
1983年 外国語学部 英米語学科 卒業



富山テレビ放送株式会社
編成局長兼編成部長
四津谷 裕昭氏
1993年 外国語学部 英米語学科 卒業

「輝く同窓生」URL

<https://www.kansaigaidai-dousou.jp/alumnus/>



支部だより

関東支部

関東支部では、旧友とのご歓談や新たな出会いを通じた交流の場として、毎年、春や夏の懇親会のほか、秋には年間最大イベント「関東地区同窓会」を開催しています。

2020年以降、コロナ禍により各種イベントを中止して参りましたが、規制緩和が段階的に進む中、ウィズコロナを意識した企画を検討中です。

具体的なイベントが確定次第、関東支部のeメールやホームページ、Facebook、Instagram、Twitter等でご案内いたします。スタッフ一同、皆様と笑顔で集える日を心待ちにしています。

◆ご意見・ご要望があれば、是非、関東支部eメールまでお寄せください!
kanto@kansai-gaidai-dousou.jp

関西支部

関西支部では、新型コロナウイルスも落ち着きを見せ始めた今年5月21日に第5期の「第一回支部役員幹事会」を対面で開催いたしました。

昨年度から始めたオンライン講演会は、第4回を「在住者が見た激動の香港」をテーマに、6月15日に香港より開催しました。

当日は、大阪、三重、福岡、スイスから、また講演者以外の香港在住者のご参加、講演会後の懇親会には過去に香港に在住していたという大先輩も参加され、総勢18名で盛り上がりました。

第5回は9月に予定しています。今期、3名の新役員を加えて総勢10名となった関西支部では、これからも“外大同窓会認知活動”を視野に入れて活動してまいります。

中部支部

中部支部は、オンラインや対面での役員会を定期的に開催し、行事開催に向けて準備を進めております。昨秋および今春はゴルフコンペを開催することができましたが、中部支部総会・懇親会等の開催はまだ予定が立っておりません。詳細が決まりましたら、同窓会HP等でお知らせいたします。同窓生の皆さまには、引き続きご支援、ご協力をお願いいたします。

[中部支部主催第13回ゴルフコンペ]



(2022年5月29日開催)

次回、第14回ゴルフコンペは
2022年11月27日開催予定

北陸支部

コロナによる惨禍は、同窓会支部の設立など新たな活動に先の見えない状況をもたらしています。北陸四県で活躍するグローバル人材の世代を超えた活動に資するという思いで、北陸支部の活動を発展させることが実現できていないのが現状です。国のコロナ対応を充分に見極めながらこれからの北陸支部を目指したいと考えています。

九州支部

同窓の皆様、日々、コロナと御奮闘の事と推察いたします。私達、支部の者も、3月の設立総会延期を強いられるなど、設立以来、丸2年がたちました。まずは、何としても、設立総会と頑張ってきました。コロナ感染防止対策をしつつ会場側と交渉、本部の援助、指導のお陰で、ついに、この9月に設立総会を開催しました。

マレーシア支部

コロナ禍のため未定です。

上海支部

現在活動を休止しております。



| 恩師リレーエッセイ |

外国語学部 教授 **Ralph Bosman**



I have kindly been offered space to write on the long relationship between Kansai Gaidai University and myself, from 1981 to my expected retirement in 2024 after teaching English Conversation, English Composition and French, and later Area Studies (my trademark subject), Seminars, Comparative Culture and Introduction to British Studies.

From 1982 I got more involved in Gaidai life through student training camps, mostly with the Interpreter Guide Club, and through its Guiding Contests in Kyoto temples; I loved all of this. I also established a circle for practice in French Conversation.

I am deeply grateful to Gaidai for its positive attitude to innovation and its tolerance of an incorrigible maverick like me. Some of you will remember the plays we staged in class; others the albums that Seminar students created; still others the “Muzzy” course for learning French through English; and the younger among you, the “lecture scripts”, which replaced textbooks, and the discussion-and-presentation activities in the Introduction to UK Studies classes, sadly ended by the corona crisis. I certainly remember one “Mary Wollstonecraft” group whooping for joy one Friday after receiving full marks for their presentation!

My teaching principles have always been based on four fundamental ideas: from my uncle, a teacher (in France) of History-and-Geography like me, who said: “The beauty of teaching is in what one gives to others with one’s knowledge and one’s heart.”

From my mother, also a teacher, who insisted that teachers must read everything students write. I do; and it’s fun, full of interesting opinions and amazing tidbits that students dig up from the Internet.

From Fr Peter Milward of Sophia University: “Learning should be enjoyable, not painful.” Students learn but can also create and analyse, for mental enrichment, instead of simply memorising.

And from Fr Richard Blundell of my secondary school, Wimbledon College: “Interaction should be based upon Trust.” So I trust. Students aren’t all angels but most appreciate being trusted, and respond with high-quality work.

After singing on stage with La Vérité, Gaidai’s choral singing club, at the 2004 Graduation ceremonies, I was encouraged by the Student Affairs Office to look in on them one day. I did; the welcome was instantaneous. I was “one of them” forthwith, and still am, as tenor or harpist; their genuine warmth remains unchanged. One of them once wrote on a class attendance slip, “We love you. Please don’t leave Gaidai!”

When I started teaching at Osaka Gakuin University, before Gaidai, I was warned: “Students are terrible. They don’t study.” 44 years later, I must disagree. The majority, when cajoled, produce excellent work. Some students actively encourage other students to perform well. In this atmosphere it is difficult to find “bad students”. They exist, but are rare.

Happily, I remain in touch with some former students, including six 1982 graduates. E-mail and Facebook make this easier. Of course I use English or French —never Japanese!

Finally, one request to all: “Love yourselves more.” It’s fine to love one’s group — school, company, country — but loving oneself is also important. It generates happiness within oneself; happy people make others happy. True, unhappiness exists; but people who don’t love themselves can never be happy. So please love yourselves, all of you!

God Bless you all.

学部・学科のご紹介

学部・学科等	入学定員	学びの特徴
国際共生学部 国際共生学科 2023年4月開設	100人 <small>海外からの3年次編入学30人含む</small>	4年間オールイングリッシュで留学生とともに学び、多文化共生社会で新たな価値を創造する人材を育成。 <ol style="list-style-type: none"> 独自の英語教育で、実践的なコミュニケーション力を修得 グローバルチャレンジ留学など、世界に広がる学びと体験の場を提供 Experiential Learningを通して実践力を養成
英語キャリア学部 英語キャリア学科	120人	英語学 × 社会科学で、国際社会で活躍する次世代のグローバルリーダーを育成。 <ol style="list-style-type: none"> 英語学と社会科学を融合した先進的なカリキュラム 3年次に1年間の「専門留学」へ（原則全員が対象） 3アドバイザーが4年間、学生一人ひとりをしっかりサポート
英語キャリア学部 英語キャリア学科 小学校教員コース	50人	関西外大独自の国際教育と充実した教員養成体制で英語が使える小学校教員を育成。 <ol style="list-style-type: none"> 小学校教育に必要な全教科・領域の実践的な指導力を養成 語学力や国際感覚を磨ける充実した国際教育環境 小学校でのボランティアなどで、実際の教育現場を豊富に体験
英米語学科	865人	高度な英語力と+αの専門知識を実践的に修得した次世代国際人を育成。 <ol style="list-style-type: none"> 海外協定大学と協働開発したSuper IES プログラムで英語を徹底的に鍛える 英語+αの専門知識や教養を学ぶ 4週間から最長3年間の多彩な留学プログラム
外国語学部 英語・デジタルコミュニケーション学科 2023年4月開設	200人	次世代国際人に求められる実践的な英語力とデジタルリテラシー、世界に通用する専門知識を養成。 <ol style="list-style-type: none"> 徹底した少人数教育で英語運用能力を磨く 英語とデジタルを駆使した次代のコミュニケーションを学ぶ 幅広い教養を学び、国際感覚を養う
外国語学部 スペイン語学科	250人	次世代国際人に求められる、スペイン語と英語、世界に通用する専門知識を養成。 <ol style="list-style-type: none"> 充実のスペイン語教育と英語教育で、2言語のマスターが可能 高度なスペイン語を修得できる外国人教員によるPIE プログラム スペイン語圏の協定大学で1年間、現地学生とともに学ぶ
英語国際学部 英語国際学科	700人	英語と中国語に加え、21世紀型の学びをベースに、未来創造型グローバル人材を育成。 <ol style="list-style-type: none"> 国際社会で通用する英語+中国語をベースに学際的教養を修得 5つのField(学修領域)を設け、ユニバーサル能力を養成 産学連携による課題解決型授業でグローバル社会で即戦力となるスキルを養成
短期大学部 英米語学科	800人	確かな語学力の養成と、キャリアにつながる幅広い知識の修得 <ol style="list-style-type: none"> 短期大学部に特化した独自の留学プログラム 4年制大学への編入学希望者のための特別講義や特別演習が充実

2023年4月 新学部・新学科誕生

国際共生学部

国際共生学科

College of Global Engagement

4年間オールイングリッシュで学び、世界の人々と協働して新たな価値を創造できる人材へ。

グローバル化の進展や急速な情報化など、社会は大きく変化しています。複雑化した社会のなかで異なる文化背景を持つ人々との協働はより一層重要となることでしょう。こうした多文化共生社会では、高度な英語運用能力はもちろん、多様な背景を持つ人々を理解する姿勢や価値観、同じ目的に向かって協力しあえる、実践的なコミュニケーション力が必要です。国際共生学科では、4年間、留学生とともにオールイングリッシュで学べる環境を整備。学科独自の「グローバルチャレンジ留学」やサービス・ラーニングなど、体験型学習により、世界の人々と協働し、新たな価値の創造へとつなげる力を育てます。

グローバル市民としての基礎力を身に付ける

グローバル市民として必要な英語実践力とコミュニケーション力を養います。

実践力を磨く体験型学習「Experiential Learning」

国内外でのインターンシップ、海外協定大学が提供するサービス・ラーニングなど体験的な学びの機会が多数用意されています。

外国語学部

英語・デジタルコミュニケーション学科

School of English and Digital Communication

グローバル化とデジタル化が加速する次代のコミュニケーション能力を養成。

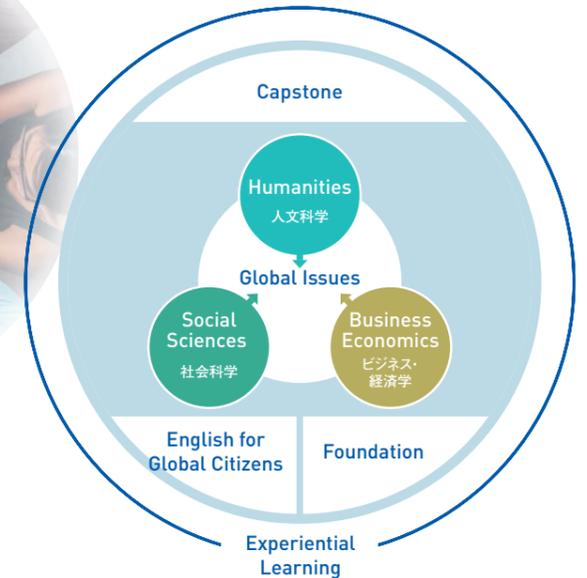
身近な暮らしやビジネスのなかで、デジタル技術の活用が当たり前になっている現代社会。グローバル社会での活躍をめざす上で、デジタルスキルは必須です。これからは「英語×デジタル」を駆使したコミュニケーションが、社会の多様な課題の解決に求められることとなるでしょう。この新学科では、そんな次代を見据えた教育を展開。高度な英語運用能力を養うとともに、社会データやデジタル技術を使いこなす力を伸ばし、国際社会での実践力を備えた人材を育てます。

徹底した少人数教育で英語運用能力を磨く

グローバル社会で求められる、実践的な「英語運用能力」を身に付けるため、少人数の習熟度別クラスできめ細かな英語教育を展開。

幅広い教養を学び国際感覚を養う

現代国際政治史や経営学概論、マーケティングなど幅広い分野を学修し教養を深めるとともに、諸外国・諸地域の歴史や文化についても学びます。

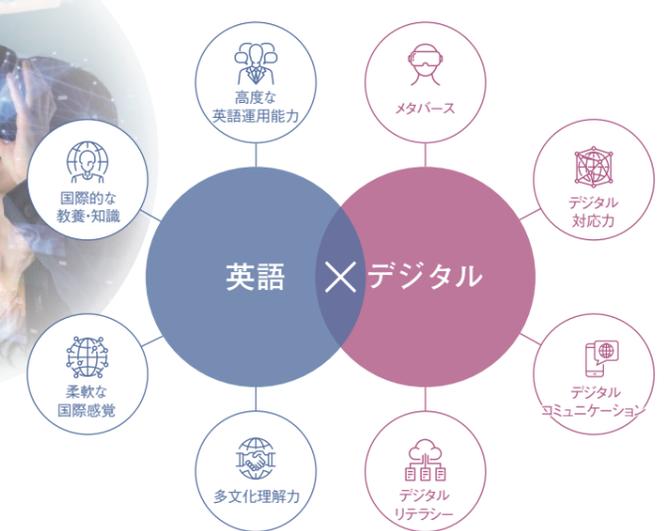


3つの専門分野を留学生とともに学ぶ

2年次開講のFoundation(導入科目)で、自らのキャリアについてのマインドを醸成し、キャリア形成について考えます。

グローバル社会の課題と海外で向き合い、解決に向けて行動

「Experiential Learning」の一環として、海外でグローバル社会の課題解決に挑戦するグローバルチャレンジ留学。



英語とデジタルを駆使したコミュニケーションを学ぶ

今やすべてのビジネスに必要な不可欠となったデジタル技術の活用を、グローバルな視点から教養として学びます。

メタバース空間での体験型学習施設

メタバース空間での体験学習を実現する施設「Hello, World.」で仮想世界での新しい学びを体験。

ONLY at KANSAI GAIDAI

関西外大の「留学」はここがすごい

- 01 INTERNATIONAL NETWORK
協定大学数は55カ国・地域395大学
アメリカ、ヨーロッパ、アジアからアフリカまで、世界中に広がる交流ネットワークの充実度は国内でもトップクラス。さまざまな国の大学と協定を結び、英語での科目履修による留学が可能です。
- 02 OUTBOUND STUDENTS
年間海外派遣学生数 約2,000人
卒業までに約半数の学生が留学を体験。毎年約2,000人の学生が留学しています。コロナ禍で一時的に中止していた派遣を2022年春から再開。約400人が20カ国で学んでいます。
- 03 STUDY AREAS
現地の学生と外国語で専門分野を学ぶ
関西外大が推奨するのは、「語学を学ぶ留学」ではなく、学士課程の授業を現地の大学生とともに「外国語で学ぶ留学」。語学のその先をめざした「ワンランク上の留学」が、その後のキャリア選択の幅を格段に広げます。

- 04 SCHOLARSHIPS
手厚い留学奨学金
一人でも多くの学生が留学を実現できるよう、充実した留学奨学金を用意。留学先大学の授業料・住居費・食費を支給・免除する「フルスカラーシップ」など、ほかに類をみない充実した費用サポートを行っています。
- 05 STUDY DURATION
留学期間は4週間から最長3年まで
留学はめざすキャリア実現のための、効果的なプロセスの一つ。学科の学びにそった留学や、自ら選択し参加する留学など、多彩な留学プログラムを用意し、学生のキャリアプランの選択肢を広げています。
- 06 PREPARATIONS
徹底した留学準備
「留学の充実度は、留学開始までの準備の具合で決まる」というコンセプトから国内随一の留学準備教育を実施しています。海外協定大学とコラボレーションした特別プログラムや、外国人留学生と学ぶプログラムなど先進的な教育プログラムを用意しています。
- 07 ACHIEVEMENTS
国際教育の実績
グローバル人材育成は大学創設以来、変わることなく、本学における教育の根幹として受け継がれています。長年にわたり蓄積してきた国際教育・交流のノウハウと実績は、海外でも高く評価されています。



Affiliated Institutions

圧倒的な海外ネットワーク

55カ国・地域 395大学

関西外大は、圧倒的な海外ネットワークを生かし、毎年約2,000人の学生を海外へ送り出し、多くの留学生や教員を受け入れています。

EUROPE & MIDDLE EAST

- ポーランド(2)
- スウェーデン(5)
- チェコ(1)
- オーストリア(4)
- デンマーク(1)
- ドイツ(8)
- スイス(1)
- アイスランド(1)
- イギリス(7)
- ベルギー(2)
- フランス(8)
- ポルトガル(1)
- スペイン(11)
- オランダ(6)
- イタリア(5)
- マルタ(1)
- ハンガリー(1)
- リトアニア(1)
- ノルウェー(3)
- エストニア(1)
- ラトビア(1)
- フィンランド(5)
- ルーマニア(1)
- ブルガリア(1)
- ロシア(1)
- トルコ(2)
- イスラエル(1)

AFRICA

- ケニア(1)
- モロッコ(1)
- エジプト(1)
- 南アフリカ(1)

OCEANIA

- オーストラリア(19)
- ニュージーランド(5)

ASIA

- 韓国(12)
- 中国<香港含む>(18)
- 台湾(2)
- タイ(2)
- カンボジア(1)
- フィリピン(1)
- ベトナム(1)
- インドネシア(1)
- インド(3)
- バングラデシュ(1)
- マレーシア(2)
- シンガポール(2)

NORTH AMERICA

- カナダ(38)
- アメリカ(185)

LATIN AMERICA

- メキシコ(5)
- エクアドル(3)
- ドミニカ共和国(1)
- コロンビア(1)
- ペルー(1)
- ブラジル(1)
- チリ(1)
- アルゼンチン(3)

※国名の横の数字は協定大学数です。

就職状況

主な就職先一覧 [2019~2021年度 / 就職先名は入社時の名称 / 順不同]

	大 学	短期大学部
製 造 業	富士通、京セラ、日本電産、YKK、リンテック、NTN、東リ、ローム、コクヨ、カンオ計算機、日本製鋼所、堀場製作所、小松製作所、村田製作所、大和冷機工業、三ツ星ベルト、小野薬品工業、武田薬品工業、田辺三菱製薬、コーセー、資生堂、ニプロ、伊藤園、日本ハム、ヤクルト本社、エスビー食品、SUBARU、三菱自動車工業、ダイハツ工業、マツダ、ヤマハ発動機、アイリスオーヤマ	京セラ、パナソニック、NTN、タカラスタンダード、小川珈琲、明治油脂、ワールド、東レフィルム加工、小城製薬、コーセー、ディーエイチシー、東洋紡、ユニチカ、デサントジャパン、ワコール、ラコステジャパン、ラルフローレン、コムテック
金 融 保 証 業	三井住友銀行、みずほ銀行、りそな銀行、池田泉州銀行、香川銀行、関西みらい銀行、四国銀行、静岡銀行、肥後銀行、みずほフィナンシャルグループ、山口フィナンシャルグループ、尼崎信用金庫、大阪厚生信用金庫、大阪信用金庫、京都中央信用金庫、枚方信用金庫、大和証券グループ本社、野村證券、いちよし証券、若井コスモ証券、みずほ証券、楽天証券、岡三証券、日本郵政、全国(農協連)、日本生命保険、第一生命保険、住友生命保険、明治安田生命保険、保険デザイン、保険ひろば	紀陽銀行、百五銀行、山口フィナンシャルグループ、大阪シティ信用金庫、北おおさか信用金庫、中兵庫信用金庫、滋賀県信用組合、大同信用組合、若井コスモ証券、岡三証券、日本生命保険、第一生命保険、住友生命保険、明治安田生命保険、保険デザイン、保険ひろば
サ ー ビ ス 業	大阪ヒルトン、帝国ホテル、ロイヤルホテル、ニュー・オータニ、星野リゾート、近鉄・都ホテルズ、ホテルニューアワジ、西村屋、三井不動産ホテルマネジメント、ミリアルリゾートホテルズ、リゾートトラスト、エイチ・アイ・エス、近畿日本ツーリスト関西、日本旅行、阪急交通社、オリエンタルランド、ユー・エス・ジェイ、船井総合研究所、テイクアンドキヴ・ニーズ、Plan・Do・See、宝塚舞台、日本マクドナルド、スターバックスコーヒー・ジャパン、ダスキン、セコム、総合警備保障、トーマツ、あずさ監査法人、アークセンチュア、東京コンサルティングファーム、国際交流基金、大阪ユースホテル協会、青年海外協力協会	ロイヤルホテル、近鉄・都ホテルズ、ニュー・オータニ、東急ホテルズ、阪急阪神ホテルズ、京都ホテル、アパホテル、プリンスホテル、ホテルグランヴィア大阪、ルートインジャパン、オリックス・ホテルマネジメント、ホテルニューアワジ、中の坊、西村屋、三井不動産ホテルマネジメント、ジェアール西日本ホテル開発、リゾートトラスト、東急リゾート&ステイ、エイチ・アイ・エス、JALナビア、日本旅行、ユー・エス・ジェイ、ANAビジネスソリューション、東京コンサルティングファーム、西レントオール、クボタ機械設計、日本マクドナルド、スターバックスコーヒー・ジャパン、ワン・ダイニング
商 業 (小売・卸売)	日鉄物産、日本キャタビラー、日立建機日本、因幡電機産業、大塚商会、GSユアサ、リョーサン、伊丹産業、岩谷産業、マルハニチロ、横浜冷凍、国分グループ本社、日本アークス、イオンリテール、日鉄百貨店、三越伊勢丹、米田三越、東急ハンズ、良品計画、Apple Japan、タカラトミー、コストコホールセールジャパン、ユニクロ、ニトリ、セブンイレブン・ジャパン、ファミリーマート、三養食品、ルイ・ヴィトンジャパン、シャネル、タキヒヨー、スタイルム、資生堂ジャパン、P&Gジャパン、大阪トヨペット、関西マツダ、ヤナセ	日本電商、伊丹産業、ANAケータリングサービス、ジェアール東海バスセンター、セブンイレブン・ジャパン、コストコホールセールジャパン、コーセー化粧品販売、資生堂ジャパン、オンワード樫山、江崎、高島屋、平和堂、ユニクロ、アパレルサーチ、ジーユー、ユナイテッドアローズ、ウォルト・ディズニージャパン、エービーシー・マート、愛眼、スズキ自販滋賀、三重ダイハツ販売、関西マツダ、トヨタカローラ新大阪、日産プリンス兵庫販売
運 輸 倉 庫 業	東日本旅客鉄道(JR東日本)、西日本旅客鉄道(JR西日本)、近畿日本鉄道、京阪電気鉄道、東京地下鉄、阪急電鉄、日本通運、上組、鴻池運輸、センコー、日新、近鉄エクスプレス、鈴与、ヤマト運輸、福山通運、名鉄運輸、岩谷物流、日通・NPOジステックス、関西丸和ロジスティクス、日本郵便、日本交通、辰日商会、日鉄物流、日本航空(JAL)、全日本空輸(ANA)、ジェイエア、ANAウイングス、ジェットスター・ジャパン、スカイマーク、ソラドエア、日本トランスオーシャン航空、エミレーツ航空、国営カタール航空、シンガポール航空、ANA大阪空港、ANA Cargo、ANA関西空港、Kスカイ、JALスカイ、ドリームスカイ名古屋、ディー・エイチ・エル・ジャパン、フェデラルエクスプレスジャパン	ANAウイングス、サンヨー航空サービス、ジェットスター・ジャパン、ANAエアポートサービス、JALスカイ、ANA関西空港、ANA沖縄空港、Kスカイ、CKTS、関空エンタープライズ、ワールドエンタープライズ、中国ターミナルサービス、日本郵便、日本通運、上組、近鉄エクスプレス、ヤマト運輸、佐川急便、エムケイ、阪急電鉄
電 力 情 報 通 信 業	朝日放送グループホールディングス、沖縄テレビ放送、熊本朝日放送、高知さんさんテレビ、リクルート、マイナビ、学情、アマゾンジャパン、吉本興業、国際通信社、京セラコミュニケーションシステム、楽天、ソフトバンク、旭情報サービス、インテック、NCS&A、カブコン、システナ、Sky、住友電工情報システム、ソフトウェア・サービス、東京コンピュータサービス、トランス・コスモス、日本情報産業、富士ソフト、関西電力	ソフトバンク、近鉄ケーブルネットワーク、日本旅行ビジネスソリューションズ、トランス・コスモス、ネクストウェア、エム・ユー・センターサービス大阪、兼松コミュニケーションズ、オービスシステム、アイティ・コミュニケーションズ、日本メンテナスエンジニアリング、コスモネット
建 設 不 動 産 業	奥村組、熊谷組、竹中工務店、前田建設工業、中外工業、明星工業、中央電設、日本電設工業、一条工務店、住友林業、積水ハウス、大和ハウス工業、ミサワホーム、三井ホーム、セキスイハイム近畿、ヤマダホームズ、旭化成ホームズ、タマホーム、日本ハウスホールディングス、三菱地所、住友不動産販売、近鉄不動産、京阪電鉄不動産、共立メンテナンス、東急リパブル	タマホーム、アキバホーム、積水ハウス不動産関西、テイエム技建、関西ホームサービス、京都ステーションセンター、大和ハウスリアルティマネジメント、山見住宅
医 療 福 教 育	国立病院機構、日本赤十字社、オリックス・リビング、ニチイ学館、パナソニックエイジフリー、ベネッセスタイルケア、日本年金機構、ECC、ウィザース、京進、セイハネットワーク、ナガセ、NOVA、浜学園、イーオン、ABC Cooking Studio、ベネッセコーポレーション、大阪YMCA、アミティー、教員(小学校・中学校・高校)	イーオン、ABC Cooking Studio、NOVA、セイハネットワーク、アミティー、教員(中学校)
公 務 員 そ の 他	自衛隊(陸上・海上・航空)、警察官(警視庁・神奈川県・京都府・大阪府・兵庫県・岡山県等)、消防士(東京都・京都府・大阪府等)、職員(東京都・愛知県・京都府・大阪府・広島県等)、大阪国税局	自衛隊(陸上・海上)、職員(大阪府・京都府・和歌山県等)

分野別 就職実績 [2019年度~2021年度合計]

教 育 各都道府県の小・中・高校教員。 全国トップクラス 203人 ※うち146人が英語教員	商社関連 商社など、 海外との取引が多い企業。 744人	航空関連業界 国内外の航空会社。 客室乗務員の 輩出人数は全国1位。 330人 ※うち102人が客室乗務員	ホテル業界 世界的にも有名な 一流ホテルを中心に多数輩出。 500人	旅行業界 海外拠点を持つ 旅行会社も多数。 79人
---	--	---	--	---

短期大学部 編入学 データ [2022年度入試実績]

関西外大への 編入学合格者数 378人 (2022年度入試実績)	ほかの4年制大学への 編入学合格者数 51人 (2022年度入試実績)	近年の他大学への編入学試験 合格実績 広島大学 岩手大学 愛媛大学 滋賀大学 和歌山大学 奈良女子大学 下関市立大学 同志社大学 関西学院大学 関西大学 近畿大学 甲南大学 龍谷大学 京都産業大学 京都女子大学 神田外語大学 南山大学 東京経済大学 駒澤大学 ほか
他大学の指定校推薦編入学 募集実績 (2021年度) 関西学院大学 関西大学 龍谷大学 京都産業大学 京都女子大学 追手門学院大学 神戸学院大学 桃山学院大学 大阪経済法科大学 大阪産業大学 大阪学院大学 南山大学 東京経済大学 駒澤大学 ほか	※他大学指定校推薦編入学の学内募集は各年各大学からの募集の有無に準じる。	

短期大学部 紹介

短期大学部 英米語学科

Division Of English And American Studies

確かな英語力と豊かな人間力を養い、
一人ひとりの未来の可能性を広げる。

グローバル化が進む社会においては、語学力や異文化理解力が求められるだけでなく、豊かな教養や人間性が重要となってきます。短期大学部英米語学科では、確かな英語力を養うとともに、幅広い教養科目やPBL(課題解決型授業)、サービス・ラーニング(経験型学習)を通じて、豊かな人間力を養成。2年間で「なりたい自分」を見つけ、それを実現するための「進学」「就職」といった次のステップへの歩みをサポートし、一人ひとりの未来の可能性を広げます。

FOCUS POINT

「話せる」だけでなく
「使える」英語力を修得

留学や実社会での活用を見据え、1年次から実践的かつ高度な英語力を少人数制クラスで徹底的に強化します。またネイティブ教員がオンライングリッシュで授業をする「IES プログラム」など、2年間で実用的な英語力、思考力、表現力を身に付けます。

クラス担任制による
きめ細かいサポート

2年間を通じてひとりの教員がクラスを持つ担任制を導入。授業は少人数制で気軽に質問ができます。また「K.G.C.ベシックス」では、クラス担任が学生生活を有意義に過ごす方法から、卒業後のキャリア形成に必要な知識まで、きめ細かく指導します。

セカンドステージを見据え
幅広い進路に対応

4年制大学への編入者数は、計427人と全国でもトップクラス。編入学を想定した授業や進路指導委員会のきめ細かい指導など、ほかには類のない実践的な準備を行っています。また就職率は95.6%の実績を誇ります。

2年間で身に付ける

- 実用的な英語力
- 思考力
- 表現力

クラス担任制



By the Numbers

数字で見る関西外大

外国人留学生の受け入れ、
教育・就職支援に力を入れている

全国の私大 **1位** (全体4位)

日経HR
「日経キャリアマガジン 価値ある大学2022-2023 就職ランキング」

日本人学生のグローバル教育に
取り組んでいる

全国の私大 **2位** (全体4位)

日経HR
「日経キャリアマガジン 価値ある大学2022-2023 就職ランキング」

受験生からの評価ランキング
(ブランド力)

国際的なセンスが身に付く

関西エリア **1位**

リクルート
「進学ブランド力調査2021」

編入学ランキング
(2・3年次)

1位

朝日新聞出版
「大学ランキング2023年版」

留学生受入人数

年間約 **750人**

(コロナ禍前の実績)

留学派遣人数

年間約 **2,000人**

(コロナ禍前の実績)

外国人教員数
(2022年5月現在)

170人

圧倒的な海外ネットワーク
(2022年7月現在)

55 各国・
395 地域 **大学**

クラブのご紹介

体育会本部

2022年体育会本部

会長 西川 陸斗

[硬式野球部]

外国語学部 英米語学科



文化会本部

2022年文化会本部

会長 進上 里乃

[ボランティア団体ひまわり]

英語国際学部 英語国際学科



学生会本部

2022年学生会本部

会長 共田 成志

[英語研究会(E.S.S.)]

外国語学部 英米語学科



体育会 クラブ

●アーチェリー部 ●アメリカンフットボール部LINX ●空手道部 ●関西外大心身統一合気道部 ●剣道部 ●航空部 ●硬式庭球部 ●硬式野球部 ●ゴルフ部 ●サッカー部 ●柔道部 ●少林寺拳法部 ●女子駅伝部 ●水上競技部 ●セパタクロー部 ●ソフトテニス部 ●卓球部 ●チアリーダー部 PYRATES ●軟式野球部 ●日本拳法部 ●バスケットボール部 ●バドミントン部 ●バレーボール部 ●ハンドボール部 ●ボクシング部 ●女子ラクロス部 ●ラグビー部 ●陸上競技部 ●ワンダーフォーゲル部

文化会 クラブ

●アウトドア部 ●イベント企画部 ●映画研究部 ●英語研究会(E.S.S.) ●MJA部(Music Joyful Association) ●演劇部「劇団しん」 ●華道部 ●ギター部 ●競技ダンス部 ●軽音楽部 ●国際事情研究部 ●I.F.C.国際親善部 ●混声合唱団 ラベリテ ●茶道部「ぜんしん会」 ●写真部 ●JAZZ研究会BEATS ●出版文芸部(C.P.C.) ●書道部「墨友會」 ●スペイン語会話部 ●箏曲部 ●ダンス部 NOD crew ●通訳ガイドクラブ(I.G.C.) ●ドイツ語研究会 ●美術部 FAC ●ボランティア団体ひまわり ●ボランティア団体 枚方レオクラブ ●フラダンス部 Puamelia ●フ ラメンコ部 Anda Jaleo ●マンドリン部

体育系・ 文化系 サークル

●関西外大スピリッツ(テニス) ●Gather Point(総合球技) ●サンパティック(バドミントン) ●Copain(ソフトテニス) ●ソフトボールサークル "macchu" ●TRAP×TRAP(バレーボール) ●中宮ウッドベッカーズ(野球) ●OSTRICH(バスケットボール) ●BATS(バスケットボール) ●Ballspielen(サッカー) ●MAXIMUM(バスケットボール) ●わくわくバレーボール ●吉田蹴球団(サッカー) ●Bêe Top(アルティメット) ●Frontier New Century(世界の平和・教育) ●Sound Creation(音楽) ●キャバークラブ(音楽) ●平和哲学研究会(世界の平和・社会問題) ●Body2(ダンス) ●Mr.PORORO(韓国語) ●MUSIC MIND(音楽) ●Il sole Italiano(イタリア語) ●Vox Chord(アカペラ) ●RuccK U(アウトドア) ●Magpie(競技カルタ) ●WiZ Habitat(ボランティア) ●新日本文化研究会

独立団体

●FBS放送局 ●関西外国語大学吹奏楽部

クラブOB・OGだより

関西外国語大学 体育会 少林寺拳法部

少林寺拳法部ホームページ <https://kansaiuidaishorinji.jimdofree.com/>

「初心に帰り、さらなる発展へ」

少林寺拳法部は2023年に創部50年を迎えます。

1973年の創部に当たり、大阪で初めて少林寺拳法の普及に尽力された奥村正千代先生を初代監督にお迎えして、数々の歴史を刻んできました。二代目は奥村良夫先生、そして現監督は本学OBの八木克敏先生にお願いし、ご指導をいただいています。

現在、我がOB・OG会は卒業生を合わせると600人を超えるまでに成長し、各人がさまざまな業界で活躍されています。大学で少林寺拳法と出会い、現在も道院長として後進の指導に当たっているOBや、それぞれの立場で活躍されている方、また海外在住の方などたくさんいらっしゃいます。

また、前回の世界大会は2017年7月にアメリカのカリフォルニア州にて開催され、当時の現役生から山本瀬奈、笹川理菜の両名が出場、世界第2位に輝きました。2018年11月には、これらの実績を評価され、日本武道代表団の一員としてインドネシア共和国にも派遣される名誉を得ました。近年においても、全国大会や全日本学生大会など、現役学生が日々精進して優秀な成績を収めてきています。

4年前の45周年記念式典では総勢90人の関係者が集い、盛大に開催されました。来年、50周年を迎えるに当たり、OB・OG、現役生が一致団結して、さらなる飛躍のために、精進していきたいと考えています。



2018年11月25日(日) 少林寺拳法部創部45周年記念式典 全体写真
場所: 関西外国語大学 中宮キャンパス



2018年11月7~14日 日本武道派遣団(少林寺拳法) 日本代表
場所: インドネシア共和国 ジャカルタ

東京パラリンピックのトライアスロンで銀メダルを獲得した卒業生の宇田秀生さんに、谷本榮子理事長・総長から総長賞



東京パラリンピックのトライアスロン(運動機能障害PTS4)で銀メダルを獲得した卒業生の宇田秀生さん(2010年卒、外国語学部英米語学科)に2021年10月18日、谷本榮子理事長・総長から総長賞が贈られました。

8月のレースで宇田さんは、最初のスイムで出遅れたものの、得意のバイクで3位となり、最後のランでさらに順位を一つあげて2位でフィニッシュしました。トライアスロンで日本勢がメダルを獲得したのは初めてです。

谷本理事長は「日の丸を握りしめてフィニッシュする姿をテレビで見ても感動しました。おめでとうございます。ほんとうによくやってくれました」とお祝いの言葉を述べました。宇田さんは「在学中にサッカーを通じて友人ができ、今でもたくさんつながっています。多くの励ましをもらったおかげです」と応えました。

ブレイキンで活躍中の卒業生・半井彩弥さんが「Red Bull BC One」の日本大会で優勝



Red Bull BC One Cypher Japan 2021での半井さんの競技

ブレイキン(ブレイクダンス)で活躍している卒業生の半井彩弥さん(2020年3月卒、外国語学部英米語学科)が、「Red Bull BC One」の日本大会で優勝し、2021年11月にポーランドで開催された世界大会に挑みました。TOP16まで残りましたがTOP4に入ることができませんでした。

ブレイキンは、2024年のパリ五輪から正式競技種目に採用されることが決まりました。2021年7月まではDリーグのチームに所属し、チームで活動していましたが、2024年パリ五輪を目指すため、個人としての活動を再開しました。「パリ五輪を目標に頑張りたい」と練習を積み、さまざまな大会に果敢にチャレンジしています。

半井さんは「今の自分は最強だと思えるほど精神状態は最高です。優勝する自信はあります。100%の力を出して今後ダンサーとして注目してもらえなきゃいけないよう爪痕もしっかり残したいと思います」と力強く話しています。

殿下拓海さん(外国語学部3年)が「全日本総合エアロビック選手権」のミックスペアで2位に輝き、ワールドカップに出場

殿下拓海さん(外国語学部英米語学科3年)が「スズキジャパンカップ2021第38回全日本総合エアロビック選手権大会」のミックスペアで同じ所属クラブのOSKスポーツクラブ(岡山市)の徳田日南さんとのペアで高得点をあげて2位となり、ワールドカップへの出場権を獲得しました。また、男子シングルでも6位入賞を果たしました。

殿下さんは高校2年だった2017年から、全日本大会のシニアの部に出場し、徳田さんとのペアで、2018年と2019年に

出場したワールドカップでは、あと一歩で決勝進出を逃していました。

殿下さんは「去年より今年の方が調整は難しかったです。9月にミックスペアへの出場を決めましたが、岡山へ行けず、LINEを使って振り付けや演技の構成を調整しました。実際に練習ができたのは1カ月弱でした」と振り返ります。「シングルの練習もコーチに指導してもらえず、気持ちは焦りました」という中で、とても難しいコンディションづくりでしたが、見事に乗り切りました。



全日本総合エアロビック選手権のミックスペアで2位に輝いた殿下さん(左)と徳田さん

「第54回谷本杯争奪全日本学生英語弁論大会」がオンラインで開かれ、E.S.S.の渡邊陽菜乃さん(外国語学部1年)が優勝



SDGsをテーマにスピーチした渡邊さん

全国の強豪校の学生がスピーチ力を競い合う「第54回谷本杯争奪全日本学生英語弁論大会」が2021年11月14日、オンラインで開かれ、「In the hope of SDGs」をテーマにスピーチした英語研究会(E.S.S.)の渡邊陽菜乃さん(外国語学部英米語学科1年)が優勝を飾りました。

関西外大E.S.S.が主催する谷本杯は半世紀以上の歴史をもち、国内の大学を対象にした英語弁論大会ではトップレベルの大会です。大会運営責任者でスピーチセクションリーダーの長森好美さん(3年)は「昨年は初めてのオンライン開催でどうしようかと大変でしたが、今年は昨年の課題を改善してスムーズに運営できました。関東からもたくさんの人が参加して良かったです」と話しています。

優勝した渡邊さんは、SDGsをテーマに取り上げ、「そもそもSDGsとは何か」「持続可能な社会をつくるために何ができるのか」「私たちの未来のために何ができるのか」を訴えました。高い英語力と鋭い発信力が評価されました。

渡邊さんは「事前にオンラインでのスピーチのアドバイスを受けたのですが、聞いている人の顔が見えないので不安でした。来年は対面で大会ができるといいなと思います」と話していました。

外大祭が開幕

大庭幸男学長が「2021年は対面とオンラインのハイブリッドでの開催になりました。新型コロナの逆境を最大のチャンスととらえ開催にこぎつけた学生の皆さんに敬意を表します。外大祭を通じて学友とのつながりを再認識してください」と挨拶しました。



学生広場の野外ステージで開かれている「SONIC」。さまざまなソンググループが出演します

続いて谷本和子短期大学部学長が「コロナ禍でも未来を信じて活動を続けてきた皆さんが、その成果を余すところなく発表します。そんな輝く個性をぜひキャンパスで発揮してください」と激励しました。

そして外大祭実行委員長の高橋愛麗奈さん(3年)が挨拶しました。「コロナ禍の中で、去年の経験と知識を生かして試行錯誤を繰り返しました。そして全力で楽しみながら準備してきました」と振り返り、「最高のコンテンツを用意しました。全力で楽しんでください」と開会を宣言しました。

2年ぶりに屋外と屋内で模擬店が復活しました。飲食物は販売はできませんが、活動の成果を発表する展示、クイズやゲーム、ライブなどが繰り広げられ、多くの学生が楽しみました。

チアリーダー部 PYRATESが「Japan CUP 2021 日本選手権大会」で11位と健闘



「全員でできるチアを全員で楽しみました」と笑顔があふれました

チアリーダー部 PYRATESが「Japan CUP 2021 日本選手権大会」の自由演技競技DIVISION.1大学部門で11位と健闘しました。

自由演技競技DIVISION.1には、全国の48大学が参加し、国立代々木競技場第一体育館で開催されました。PYRATESは予選を順調に勝ち進んで上位12チームに残り、決勝に進出しました。決勝では185.5点を上げ、合計得点277.5点で11位になりました。

新型コロナウイルスの影響でさまざまな制約がかかり、普段のような練習ができない日が続きましたが、底力を発揮しての大健闘でした。メンバーは「決勝に残ることができ、全員でできるチアを全員で楽しみました。次の大会では、よりパワーアップしたPYRATESを見ていただけるように精一杯頑張ります」と話しています。

女子駅伝部が富士山女子駅伝で、過去最高タイムを記録する11位の好レース



スタート地点では富士山が鮮やかに見えました

女子駅伝部は2021年12月30日に静岡県で開催された富士山女子駅伝(2021全日本大学女子選抜駅伝競走)で、11位の好レースを繰り広げました。7年連続7回目の出場、過去最高タイムを記録する2時間29分14秒の力走でした。

コースは富士山本宮浅間大社前(富士宮市)スタート、富士総合運動公園陸上競技場(富士市)フィニッシュの7区間43.4キロで、全国から選抜された22大学と、全日本大学選抜チーム、地元の静岡県学生選抜チームの計24チームで健闘を競いました。

例年がない高速レースとなりましたが、1区の山岸みなみ選手(2年)が7位で好スタートし、6区の武田芽依選手(1年)が区間5位、7区の矢尾桃子選手(3年)が区間8位の猛烈な追い上げを見せて、同大会での最高タイムを塗り替えました。悲願の8位以上は達成できませんでしたが、記録は伸ばしており、来シーズンの活躍が期待できます。

2021年度の学位記授与式が挙行され、大学院、大学、短期大学部の計3350人が学窓を卒業



厚生北館の円形ステージには卒業記念の特設パネルが設けられました。大勢の卒業生が記念写真を撮影していました

2021年度の学位記授与式は、新型コロナウイルスの感染予防のため、3回に分けて行われ、式典会場への入場は卒業生に限られました。式典はインターネット動画でライブ配信されました。

大庭幸男学長は最初に、大学院の課程を修了した学生に対して、2人に博士学位記を、5人に修士学位記を授与しました。

そして、英語キャリア学部122人、外国語学部英米語学科1432人、外国語学部スペイン語学科235人、英語国際学部762人のそれぞれの学部・学科総代に学位記を手渡しました。

2022年度の入学式が行われ、3421人が新たに外大生に

2022年度の入学式が4月2日に行われました。大学院、大学3学部、短期大学部に3年次編入学を合わせて3421人が共に外大で学ぶ仲間になりました。



会場前で記念撮影をする新入生

入学式は3回に分けて、中宮キャンパスの谷本記念講堂で挙行されました。新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐために、会場への入場は新入生のみとし、式典の様子はオンラインでライブ配信されました。

大学院、英語キャリア学部、英語国際学部、外国語学部の入学式では、各学科・コースの入学代表が誓詞を読み上げ、大庭幸男学長から入学を許可されました。

新入生歓迎祭が開かれ3200人が参加

新入生歓迎祭が2022年4月10日、中宮キャンパスで開かれ、新入生約3200人がクラブやサークル活動を通じて新しい仲間づくりを始めました。

3年ぶりの対面での開催となった今年の新入生歓迎祭のテーマは「Chance encounter with _____(アンダーバー)」。アンダーバーにはこれから出会う人たちやクラブ・サークルを入れて、これからの学生生活を楽しくしてほしいとの願いを込めました。

谷本記念講堂での開祭式では、学生部長の太田和男教授が「充実した学生生活を送るうえでクラブやサークルなどに積極的に参加することは大切です」と激励しました。また、実行委員会の山岡恵彩委員長が「今日のイベントを通してテーマにある with _____に当てはまる言葉が見つかり、充実したキャンパスライフになることを願っています」とあいさつしました。



たくさん参加した新入生